

これまでに 4 型胃癌に対する腹腔鏡下手術を受けた患者さんへ  
【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院 外科では「根治可能な肉眼型分類 4 型胃癌に対する腹腔鏡下手術の妥当性に関する多施設共同後ろ向き観察研究」という臨床研究を行っています。

この研究は、非治癒因子のない 4 型胃癌患者に対して、腹腔鏡下手術と開腹手術が予後に与える影響を明らかにすることを目的としています。

そのため、2005 年 7 月から 2015 年 12 月までに肉眼分類で 4 型と診断され、根治を目的とした胃癌手術を受けた 18 歳以上の患者さんの、各種術前、術中、術後観察項目、転帰に関するデータを使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦 2005 年 7 月 1 日から西暦 2015 年 12 月 31 日
データ収集期間	審査委員会承認後から 2 年間

○調査研究の対象

これまでに肉眼分類で 4 型と診断され、根治を目的とした胃癌手術を受けた患者さんの各種術前、術中、術後観察項目、転帰に関する過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
<共同研究機関> 京都大学消化管外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院 外科の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、西暦 2021 年 9 月 13 日までにお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
研究責任者：姜貴嗣 / 連絡担当者：姜貴嗣  
TEL：078-576-5251（代）